

奨励会に合格 目指すはプロ棋士

高橋 遥輝さん

天童市民で初めて新進棋士奨励会入会試験に合格した高橋さん。目標は、「20歳でプロ棋士になること」と話します。



天童市民で初めて新進棋士奨励会入会試験に合格した、一中1年の高橋遥輝さん。8月18日から20日にかけて東京都の将棋会館で行われた奨励会入会試験で、一次試験を4勝1敗で突破。二次試験では、奨励会会員に勝利し合格を決めました。「昨年は最終調整がうまくいかず、悔しい思いをしました。その反省を生かして、今年は緊張し過ぎず、力を出し切って指すことができました。まずは安心していきます」と話します。

5歳のときに将棋を始めた高橋さん。小学1年生から天童市少年少女将棋教室に通い始め、本市が取り組むプロ棋士育成教室の第1期生として練習を重ね、力を付けてきました。「小学2年生のとき、棋力が伸びて勝てる数も増えました。そのあたりからプロ棋士になりたいと思うようになりました」とプロ棋士を志すきっかけを語ります。

「負けている対局でも、頑張れば逆転できるのが楽しいです。局面によっては、相手の悪手を誘う手を指すと、相手がミスをして逆転できたりします」と将棋の魅力を笑顔で話します。

奨励会では、月に2回将棋会館で行われる例会で、会員同士の対局を重ね、プロ棋士を目指します。次なる目標はもちろんプロ棋士。「20歳でプロ棋士になれるよう頑張りたいです」と意気込みを語りました。

新進棋士奨励会

●新進棋士奨励会とは

新進棋士奨励会は6級から三段までで構成されている日本将棋連盟のプロ棋士養成機関です。二段までは東西(東京・大阪)に分かれて対局を行い、一定の成績を収めると昇段・昇級します。三段になると東西を合わせたリーグ戦(三段リーグ)を半年ごとに行い、上位2人が四段に昇格し、晴れてプロ棋士になります。

●入会試験の受験資格

満19歳未満で、プロ棋士からの推薦を受けた方が受験することができます。

●年齢制限

以下の年齢までに昇段できなかった場合、退会となります。

- ・満21歳の誕生日までに初段に昇段
- ・原則満26歳の誕生日を含む三段リーグ終了までに四段に昇段

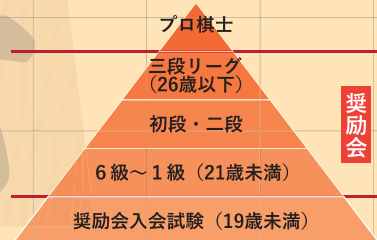
●昇段・昇級の条件

- ・四段への昇段は、年2回の三段リーグで1・2位

- ・初段～三段までの昇段は、8連勝、12勝4敗、14勝5敗、16勝6敗、18勝7敗のいずれかの成績を収める
- ・6級～1級までの昇級は、6連勝、9勝3敗、11勝4敗、13勝5敗、15勝6敗のいずれかの成績を収める

●降段・降級の条件

- ・三段リーグでの降段は、勝率2割5分以下を2回連続で記録する
- ・二段以下での降段・降級は、2勝8敗以下を記録した後、3勝3敗以上の成績を収める前に再び2勝8敗以下を記録する



人口 60,737人 (61,251人) 男 29,705人 女 31,032人 世帯数 23,026世帯 (22,916世帯)
9月1日現在 () 内は昨年同期